

平成 20 年度 九州工業大学 2 次試験前期日程 (数学問題)  
情報工学部 平成 20 年 2 月 25 日

- 数 I・II・III・A・B・C (120 分)

1 実数  $c$  ( $c > 0$ ) に対して,  $x > 0$  で定義された次の関数  $f(x)$  を考える.

$$f(x) = \log_e x - c(x - 1)$$

ただし,  $e$  は自然対数の底である. 以下の問いに答えよ.

- (1)  $f(x)$  は最大値を持つことを示せ. また,  $f(x)$  が最大になるときの  $x$  の値とそのときの  $f(x)$  の値を  $c$  を用いて表せ.
- (2) (1) で求めた最大値を  $m$  とするとき,  $c$  の値によらず  $m \geq 0$  であることを示せ.
- (3) すべての  $x$  ( $x > 0$ ) に対して,  $f(x) \leq 0$  が成り立つときの  $c$  の値を求めよ.
- (4) すべての  $x$  ( $x > 0$ ) に対して

$$\log_a x - b(x - 1) \leq 0$$

が成り立つときの, 実数  $a$  ( $a > 1$ ) と  $b$  ( $b > 0$ ) が満たすべき関係式を求めよ.

2 実数  $a, b$  ( $a > 0, b > 0$ ) に対して, 点  $(1, 1)$  を通る放物線  $C: y = ax^2 + b$  と, 放物線  $C$  の点  $(1, 1)$  における接線  $l$  を考える. 以下の問いに答えよ.

- (1)  $b$  を  $a$  を用いて表せ.
- (2) 接線  $l$  の方程式を  $a$  を用いて表せ.
- (3) 放物線  $C$ , 接線  $l$  および  $y$  軸で囲まれた図形のうち,  $y \geq 0$  の部分の面積  $S$  を  $a$  を用いて表せ.
- (4)  $S$  が最大となるときの  $a$  の値とそのときの  $S$  の値を求めよ.

3 数列  $\{x_n\}$  および  $\{y_n\}$  を  $2 \times 2$  行列  $M$  により次の式で定める .

$$\begin{pmatrix} x_{n+1} \\ y_{n+1} \end{pmatrix} = M \begin{pmatrix} x_n \\ y_n \end{pmatrix} \quad (n = 0, 1, 2, \dots)$$

$a > 0, b > 0, a + b < 1$  を満たす実数  $a, b$  に対して, 行列  $M$  を

$$M = \begin{pmatrix} 1 - a & 1 - a - b \\ a & a + b \end{pmatrix}$$

で与える .  $x_0 = 1, y_0 = 0$  のとき, 以下の問いに答えよ .

- (1)  $n = 0, 1, 2, \dots$  に対して,  $x_n + y_n = 1$  が成り立つことを示せ .
- (2)  $n \geq 1$  のとき,  $y_n$  を  $y_{n-1}, a, b$  を用いて表せ .
- (3)  $n \geq 1$  のとき,  $x_n$  を  $x_{n-1}, a, b$  を用いて表せ .
- (4) 数列  $\{x_n\}$  および  $\{y_n\}$  の一般項を  $a, b$  を用いて表せ .
- (5) 原点を  $O$ , 座標  $(x_n, y_n)$  を表す点を  $P_n$  とするとき,  $\triangle OP_n P_{n-1}$  の面積を  $S_n$  とする .  $L_n = S_1 + S_2 + \dots + S_n$  とするとき,  $\lim_{n \rightarrow \infty} L_n$  を求めよ .

4 出席者  $n$  人の会議で, 出席者のうち  $\frac{2}{3}$  以上が議案に賛成する確率  $T_n$  と,  $\frac{1}{2}$  以上が賛成する確率  $H_n$  を考える . 各出席者が議案に賛成する確率を  $p$  ( $0 \leq p \leq 1$ ) とし, 各出席者が賛成するかないかは互いに独立であるとする .

たとえば,  $H_2 = 2p(1 - p) + p^2 = 2p - p^2$  である .

このとき, 以下の問いに答えよ . ただし, 出席者は賛成するかないかのどちらかであるものとする .

- (1)  $T_3$  を求めよ .
- (2)  $H_2 \geq T_3$  を示せ .
- (3) 差  $H_2 - T_3$  が最も大きくなるときの  $p$  の値を求めよ .
- (4)  $p = \frac{1}{2}$  のとき,  $T_3 \geq T_6 \geq T_9$  を示せ .
- (5)  $p = \frac{1}{2}$  のとき,  $H_{2k+1}$  ( $k \geq 1$ ) を求めよ .

## 正解

1 (1)  $f(x) = \log_e x - c(x-1)$  を微分すると

$$f'(x) = \frac{1}{x} - c = \frac{1-cx}{x}$$

$x$	(0)	...	$\frac{1}{c}$	...
$f'(x)$		+	0	-
$f(x)$		↗	極大	↘

右の増減表により  $x = \frac{1}{c}$  のとき最大値  $-\log_e c - 1 + c$

(2) (1) の結果から  $m = -\log_e c - 1 + c$  ( $c > 0$ )

これを微分すると

$$\frac{dm}{dc} = -\frac{1}{c} + 1 = \frac{c-1}{c}$$

$c$	(0)	...	1	...
$\frac{dm}{dc}$		-	0	+
$m$		↘	0	↗

右の増減表から  $m \geq 0$

(3) すべての  $x$  に対して,  $f(x) \leq 0$  が成り立つとき,  
 $f(x)$  の最大値  $m$  が  $m \leq 0$  であるから, (2) の結果から

$$m = 0 \quad \text{すなわち} \quad c = 1$$

(4)  $a > 1$  のとき, すべての  $x$  ( $x > 0$ ) に対して

$$\log_a x - b(x-1) \leq 0$$

が成り立つとき

$$\frac{\log_e x}{\log_e a} - b(x-1) \leq 0 \quad \text{ゆえに} \quad \log_e x - (b \log_e a) \cdot (x-1) \leq 0$$

$c = b \log_e a$  とおくと, 上の第2式は  $f(x) \leq 0$

これがすべての  $x$  に対して成り立つとき, (3) の結果から

$$b \log a = 1$$

2 (1) 放物線  $y = ax^2 + b$  は点  $(1, 1)$  を通るから

$$1 = a \cdot 1^2 + b \quad \text{よって} \quad b = 1 - a$$

(2)  $y = ax^2 + b$  を微分すると  $y' = 2ax$

ゆえに,  $x = 1$  のとき  $y' = 2a$

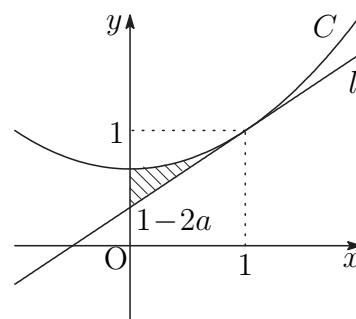
求める接線  $l$  は, 点  $(1, 1)$  を通り, 傾き  $2a$  の直線であるから

$$y - 1 = 2a(x - 1) \quad \text{よって} \quad y = 2ax + 1 - 2a$$

(3)  $a > 0, b > 0$  および (1) の結果から  $1 - a > 0$  ゆえに  $0 < a < 1$

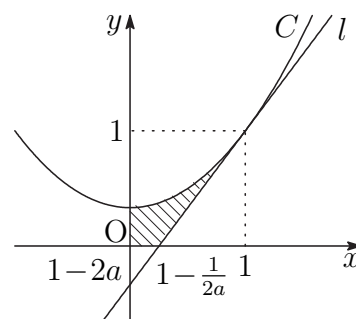
i)  $1 - 2a > 0$  すなわち  $0 < a < \frac{1}{2}$  のとき

$$\begin{aligned} S &= \int_0^1 \{ax^2 + 1 - a - (2ax + 1 - 2a)\} dx \\ &= a \int_0^1 (x - 1)^2 dx \\ &= a \left[ \frac{1}{3}(x - 1)^3 \right]_0^1 = \frac{a}{3} \end{aligned}$$



ii)  $1 - 2a \leq 0$  すなわち  $\frac{1}{2} \leq a < 1$  のとき

$$\begin{aligned} S &= \int_0^1 (ax^2 + 1 - a) dx \\ &\quad - \frac{1}{2} \left\{ 1 - \left( 1 - \frac{1}{2a} \right) \right\} \cdot 1 \\ &= \left[ \frac{a}{3}x^3 + (1 - a)x \right]_0^1 - \frac{1}{4a} \\ &= 1 - \left( \frac{2a}{3} + \frac{1}{4a} \right) \end{aligned}$$



(4) (3) の結果から,  $\frac{1}{2} \leq a < 1$  において,  $S$  は最大値をとる.

相加平均・相乗平均の関係により

$$\frac{2a}{3} + \frac{1}{4a} \geq 2\sqrt{\frac{2a}{3} \cdot \frac{1}{4a}} = \frac{\sqrt{6}}{3}$$

上式において, 等号が成立するとき  $\frac{2a}{3} = \frac{1}{4a}$  すなわち  $a = \frac{\sqrt{6}}{4}$

$\frac{1}{2} \leq \frac{\sqrt{6}}{4} < 1$  に注意して,  $a = \frac{\sqrt{6}}{4}$  のとき,  $S$  は最大値  $1 - \frac{\sqrt{6}}{3}$  をとる.

$$\boxed{3} \quad (1) \quad \begin{pmatrix} x_{n+1} \\ y_{n+1} \end{pmatrix} = M \begin{pmatrix} x_n \\ y_n \end{pmatrix}, \quad M = \begin{pmatrix} 1-a & 1-a-b \\ a & a+b \end{pmatrix} \cdots (*) \text{ より}$$

$$\begin{cases} x_{n+1} = (1-a)x_n + (1-a-b)y_n & \cdots \textcircled{1} \\ y_{n+1} = ax_n + (a+b)y_n & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

①, ②の辺々を加えると  $x_{n+1} + y_{n+1} = x_n + y_n$

よって  $x_n + y_n = x_0 + y_0 = 1$

(2) (1)の結果から,  $x_n = 1 - y_n$ . これを②に代入すると

$$y_{n+1} = a(1 - y_n) + (a+b)y_n \quad \text{ゆえに} \quad y_{n+1} = by_n + a$$

よって  $y_n = by_{n-1} + a \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$

(3) (1)の結果から,  $y_n = 1 - x_n$ . これを①に代入すると

$$x_{n+1} = (1-a)x_n + (1-a-b)(1-x_n) \quad \text{ゆえに} \quad x_{n+1} = bx_n + 1 - a - b$$

よって  $x_n = bx_{n-1} + 1 - a - b \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$

(4) (2)の結果から

$$y_n - \frac{a}{1-b} = b \left( y_{n-1} - \frac{a}{1-b} \right)$$

$$y_n - \frac{a}{1-b} = b^n \left( y_0 - \frac{a}{1-b} \right)$$

$$y_0 = 0 \text{ より} \quad y_n = \frac{a(1-b^n)}{1-b}$$

上式を  $x_n = 1 - y_n$  に代入すると

$$x_n = 1 - \frac{a(1-b^n)}{1-b} \quad \text{ゆえに} \quad x_n = \frac{1-a-b+ab^n}{1-b}$$

$$(5) \quad A_n = \begin{pmatrix} x_{n-1} & x_n \\ y_{n-1} & y_n \end{pmatrix} \text{ とおくと, } A_1 = \begin{pmatrix} x_0 & x_1 \\ y_0 & y_1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 1-a \\ 0 & a \end{pmatrix}$$

(\*) より  $A_n = M^{n-1}A_1$  ゆえに  $\det A_n = (\det M)^{n-1} \det A_1$

このとき  $\det M = (1-a)(a+b) - (1-a-b)a = b$ ,  $\det A_1 = a$

したがって  $\det A_n = ab^{n-1}$

また,  $S_n = \frac{1}{2} |\det A_n|$  であるから,  $a > 0, b > 0$  より  $S_n = \frac{1}{2} ab^{n-1}$

$L_n = S_1 + S_2 + \dots + S_n$  は初項が  $\frac{1}{2}a$ , 公比が  $b$  ( $0 < b < 1$ ) の等比数列の初項から第  $n$  項までの和であるから

$$\lim_{n \rightarrow \infty} L_n = \frac{a}{2(1-b)}$$

- 4 (1) 3人のうち, 2人または3人が賛成する確率であるから

$$T_3 = {}_3C_2 p^2(1-p) + p^3 = 3p^2 - 2p^3$$

- (2) (1)の結果および  $H_2 = 2p - p^2$  から

$$\begin{aligned} H_2 - T_3 &= (2p - p^2) - (3p^2 - 2p^3) \\ &= 2p^3 - 4p^2 + 2p \\ &= 2p(p-1)^2 \geq 0 \end{aligned}$$

よって  $H_2 \geq T_3$

- (3)  $f(p) = H_2 - T_3$  とおくと  $f(p) = 2p^3 - 4p^2 + 2p$

ゆえに  $f'(p) = 6p^2 - 8p + 2 = 2(3p-1)(p-1)$

$0 \leq p \leq 1$  における  $f(p)$  の増減表は次のようになる.

$p$	0	...	$\frac{1}{3}$	...	1
$f'(p)$		+	0	-	
$f(p)$		↗	極大	↘	

よって,  $H_2 - T_3$  が最大になるとき  $p = \frac{1}{3}$

$$(4) \quad T_{3n} = \sum_{k=2n}^{3n} {}_{3n}C_k \left(\frac{1}{2}\right)^k \left(1 - \frac{1}{2}\right)^{3n-k} = \left(\frac{1}{2}\right)^{3n} \sum_{k=2n}^{3n} {}_{3n}C_k$$

上式に  $n = 1, 2, 3$  をそれぞれ代入すると

$$\begin{aligned} T_3 &= \left(\frac{1}{2}\right)^3 \sum_{k=2}^3 {}_3C_k = \frac{1}{8} ({}_3C_2 + {}_3C_3) \\ &= \frac{3+1}{8} = \frac{4}{8} = \frac{128}{256}, \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} T_6 &= \left(\frac{1}{2}\right)^6 \sum_{k=4}^6 {}_6C_k = \frac{1}{64} ({}_6C_4 + {}_6C_5 + {}_6C_6) \\ &= \frac{15+6+1}{64} = \frac{22}{64} = \frac{88}{256}, \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} T_9 &= \left(\frac{1}{2}\right)^9 \sum_{k=6}^9 {}_9C_k = \frac{1}{512} ({}_9C_6 + {}_9C_7 + {}_9C_8 + {}_9C_9) \\ &= \frac{84+36+9+1}{512} = \frac{65}{256} \end{aligned}$$

よって  $T_3 \geq T_6 \geq T_9$

$$\begin{aligned}
(5) \quad H_{2k+1} &= \sum_{j=k+1}^{2k+1} {}_{2k+1}C_j \left(\frac{1}{2}\right)^k \left(1 - \frac{1}{2}\right)^{2k+1-j} \\
&= \left(\frac{1}{2}\right)^{2k+1} \sum_{j=k+1}^{2k+1} {}_{2k+1}C_j \\
&= \left(\frac{1}{2}\right)^{2k+2} \sum_{j=k+1}^{2k+1} (2 \times {}_{2k+1}C_j) \\
&= \left(\frac{1}{2}\right)^{2k+2} \sum_{j=k+1}^{2k+1} ({}_{2k+1}C_j + {}_{2k+1}C_{2k+1-j}) \\
&= \left(\frac{1}{2}\right)^{2k+2} \sum_{j=0}^{2k+1} {}_{2k+1}C_j \\
&= \left(\frac{1}{2}\right)^{2k+2} \times 2^{2k+1} = \frac{1}{2}
\end{aligned}$$